

公開プレゼンテーションについて

1. 目的

- ・ 豊橋市行財政改革プラン（以下「プラン」という。）のこれまでの進捗状況や今後の計画などについて、外部の視点から評価・検証する機会を確保し、内部評価の客観性や透明性を高めるとともに、改善方策等の提言を得て、プランのさらなる推進を図る。
- ・ 市として積極的に推進している事項を取り上げ、公開の場で市民にプレゼンテーションすることで、本市行政の取り組みを市民に知ってもらう。

2. 開催日時及び会場

日時：平成25年7月6日（土）午前10時から午後3時50分まで（受付：9時30分から）

会場：豊橋市役所東81・86会議室（2会場）

3. 公開プレゼンテーションの対象項目（別紙参照）

プランの部局別行動計画に掲げる158取組項目のうち、本年度豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会（以下「委員会」という。）による書類評価を実施した84取組を中心に、市民の関心が高いもの、市民にPRすべきもの（市として大きな舵をとるもの）、議論の展開が期待できるものなどを10取組程度選定する。

第1会場（東81会議室）

No.	対象項目名	所管部課名
1-1		
1-2		
1-3		
1-4		
1-5		

第2会場（東86会議室）

No.	対象項目名	所管部課名
2-1		
2-2		
2-3		
2-4		
2-5		

4. 昨年度からの主な変更点

- ・名称を「公開ヒアリング」から「公開プレゼンテーション」へ変更
- ・大学生参加の取組を設定
- ・傍聴者からの質問を受付
- ・審議の「コメントとまとめ」内で委員会としての意見のまとめを述べる。
- ・会場内レイアウトの変更

(1) 学生による公開プレゼンテーションの参加について

行財政改革プランの取組を、将来を担う学生に考えてもらうことで、将来を見通した持続可能な豊橋市の行財政運営への関心を高めてもらう。

(2) 審議終盤での委員会としての意見のまとめの出し方について

各班の代表委員（委員長または副委員長）が意見のまとめを述べる。

【視点】

- ア 取組の進捗度合（スピードアップが必要かどうか）
- イ 取組手法（行財政改革や市民サービスなどの視点から効果的な内容か）
- ウ 社会経済情勢の変化等に照らした更なる改革の必要性
- エ その他（目標値の設定に問題がないか など）

(参考) 審議の進め方

内容	時間	備考
所管課による説明	10分	
質疑応答	20分	外部検証委員
傍聴者からの質疑及び意見聴取	15分	※大学生が質疑する時間 傍聴者からの質問も受け付ける
まとめ	5分	外部検証委員（各班の代表委員）
計	50分	

※学生参加の有無にかかわらず上表のとおり進める

5. 班体制

班（会場）	委員名
1班（東81会議室）	石原委員長、富田委員、諏訪委員、村松委員
2班（東86会議室）	世羅副委員長、功刀委員、伊藤委員、大久保委員

※各班が担当する項目については、10項目決定後に審議する。